

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューロー	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真 鶴町、湯河原町	
所在地	神奈川県小田原市	
設立時期	平成28年6月1日	
職員数	5人(常勤1人(正職員1人)、非常勤4人)	
代表者(トップ人材: 法人の取組について 対外的に最終的に責 任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 古川 達高 (出身組織名) (一社)小田原プロモ ーションフォーラム	一般社団法人小田原プロモーションフォーラムの 代表理事として、小田原の集客拡大に向けた事業や 情報発信に取り組み、様々な事業で成果を挙げてい る。
データ収集・分析等の 専門人材(CMO:チ ーフ・マーケティ ング・オフィサー ※必ず記入すること	(氏名) 中嶋 順 「専従」 (出身組織名) (一社)小田原プロモ ーションフォーラム、箱根 プロモーションフォー ラム	箱根サンテグジュペリ 星の王子さまミュージアム において、営業・企画・広報・プライダル担当 取 締役員部長として広報部門の統括を担う。 平成19年に箱根プロモーションフォーラムを設立 (代表理事)。平成25年に(一社)小田原プロモ ーションフォーラムを設立(理事)。県西地域でのプロ モーションに高い知見と能力を持つ。
財務責任者 (CFO:チーフ・フ ィナンシャル・オフィ サー) ※必ず記入すること	(氏名) 外郎 武 (出身組織名) (株)ういろう	菓子・家伝菓の製造販売業の老舗企業を運営してき た。その観光振興や経営のノウハウを活かし、持続 可能な運営のため、運営収支や財源確保を検討・マ ネジメントする。
プロモーション部門 の責任者(専門人材)	(氏名) 鈴木 伸幸 (出身組織名) FM小田原(株)	平成17年にFM小田原(株)を設立。小田原城天守閣 リニューアルオープン記念事業や箱根仙石原すす き祭りなどの県西地域での各種イベントにおいて 広報を全般的に担当、業務総括責任者として従事。 各観光地での広範な広報戦略を實踐し、観光地域の マーケティングの高い知見と能力を持つ。
連携する地方公共団 体の担当部署名及び 役割	神奈川県県西地域県政総合センター(地域間連携支援、受入環境整備) 小田原市企画部企画政策課(事務局サポート) 経済部産業政策課(観光振興全般に関すること) 経済部観光課(地場産業全般に関すること) 南足柄市商工観光課(観光振興全般に関すること)	

(別添) 様式 1

	<p>中井町企画課 (広報や情報発信に関すること) 箱根町企画観光部企画課 (広報や情報発信に関すること) 企画観光部観光課 (観光振興全般に関すること) 真鶴町産業観光課 (観光振興全般に関すること) 湯河原町観光課 (観光振興全般に関すること) 大井町地域振興課 (農業・商工・観光振興全般に関すること) 松田町 観光経済課 (観光振興全般に関すること) 中井町 企画課 (観光振興全般に関すること) 山北町 商工観光課 (観光振興全般に関すること)</p>				
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p><地域内のDMO、観光協会> 小田原DMO、箱根DMO、真鶴町観光協会、湯河原町観光協会、山北町観光協会、松田町観光協会、山北町観光協会、あしがら観光協会 (広域周遊の促進)</p> <p>株式会社ういろ (ふるさと名物の開発) FM小田原株式会社 (プロモーション) 小田急箱根ホールディングス (アクセス改善) 伊豆箱根鉄道 (アクセス改善) 箱根プロモーションフォーラム (プロモーション・ふるさと名物の開発) 小田原箱根商工会議所 (プロモーション・ふるさと名物の開発) 小田原青年会議所 (広域周遊の促進) 箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部 (宿泊受入れの拡大) 株式会社T-FORESTRY (着地型旅行商品) 株式会社 街かど案内所 (プロモーション) 小田原食品衛生協会 (ふるさと名物の開発) (一社)小田原プロモーションフォーラム (プロモーション・ふるさと名物の開発) 神奈川県ラグビーフットボール協会 (誘客促進) 小田原サイクリングプロジェクト (広域周遊の促進) ヒルトン小田原リゾート&スパ (誘客促進) 万葉倶楽部株式会社 (誘客促進) レントオール小田原 (プロモーション) 株式会社田むら銀かつ亭 (ふるさと名物の開発) 金乃竹 (誘客促進) RICOH、アサヒビール、ジェイコム、NTT東日本 (誘客促進のしくみづくり)</p>				
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する要件】② (概要) 多様な関係者が理事となる理事会を組織する。関係する事業者や団体、行政担当で分野ごとの実務的な検討やコンテンツ構築を担当する部会を設置する。</p>				
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>観光地域づくりについて、DMO会員に意識啓発を行っている。各観光協会等において、観光地域づくりに関する住民参加型の意見交換会や勉強会を開催している。</p>				
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <table border="1" data-bbox="448 1753 1426 1982"> <thead> <tr> <th data-bbox="448 1753 632 1805">事業</th> <th data-bbox="632 1753 1426 1805">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1805 632 1982"> 情報発信・プロモーション </td> <td data-bbox="632 1805 1426 1982"> <ul style="list-style-type: none"> ・湯めぐりクーポン ・すてきな灯り Project ・ほっこりあったかグルメセレクション ・外国人向け (特に欧米系) プロモーション動画、エリア冊子の作成による情報発信・プロモーション </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・湯めぐりクーポン ・すてきな灯り Project ・ほっこりあったかグルメセレクション ・外国人向け (特に欧米系) プロモーション動画、エリア冊子の作成による情報発信・プロモーション
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・湯めぐりクーポン ・すてきな灯り Project ・ほっこりあったかグルメセレクション ・外国人向け (特に欧米系) プロモーション動画、エリア冊子の作成による情報発信・プロモーション 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・在日外国人との情報交換会・ガイド育成 ・小田原駅、主要施設等の外国人アンケート調査による動態、ニーズ把握（高校生による調査）
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧後を見据えた運休した箱根登山鉄道の強羅駅でのイルミネーションの実施 ・各地域のインフラ整備の推進に向けて観光台帳を作成。(トイレ・駐車場・Wi-Fi スポット・ロケ地・スポーツ施設・コンベンション会場・宿泊・日帰り施設などスペックを確認、課題地域、施設などを把握。) ・ガイド人材の育成
観光資源の磨き上げ	<p>域内の多彩な地域資源をコンテンツごと、今後、磨き上げられるものを時代に合わせて、整理を行い、具体的に以下の事業を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光情報の共有 ・湯めぐりクーポン ・すてきな灯り Project ・富裕層向けクルーズ船就航（逗子から小田原まで） ・富裕層向けヘリコプター来訪（東京から）、高級旅館の貸切プラン、美術館の営業時間前の貸切 等

(定量的な評価)

各事業の利用者、情報発信リーチ量などにより、一定の情報発信、観光の磨き上げを行うことができた。今後、ニューノーマルを踏まえて、各事業を検討、実践する。

実施体制

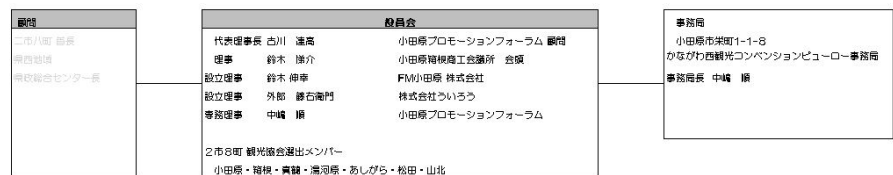
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。

(実施体制の概要)

東京オリンピック・パラリンピック神奈川県西部連絡会コアメンバーが母体となり理事会を組織。理事には、商工業団体や関係事業者が参画し、官民・産業界・地域間で密接に連携した運営を実施。

(実施体制図)

「かながわ西観光コンベンション・ビューロー」組織図



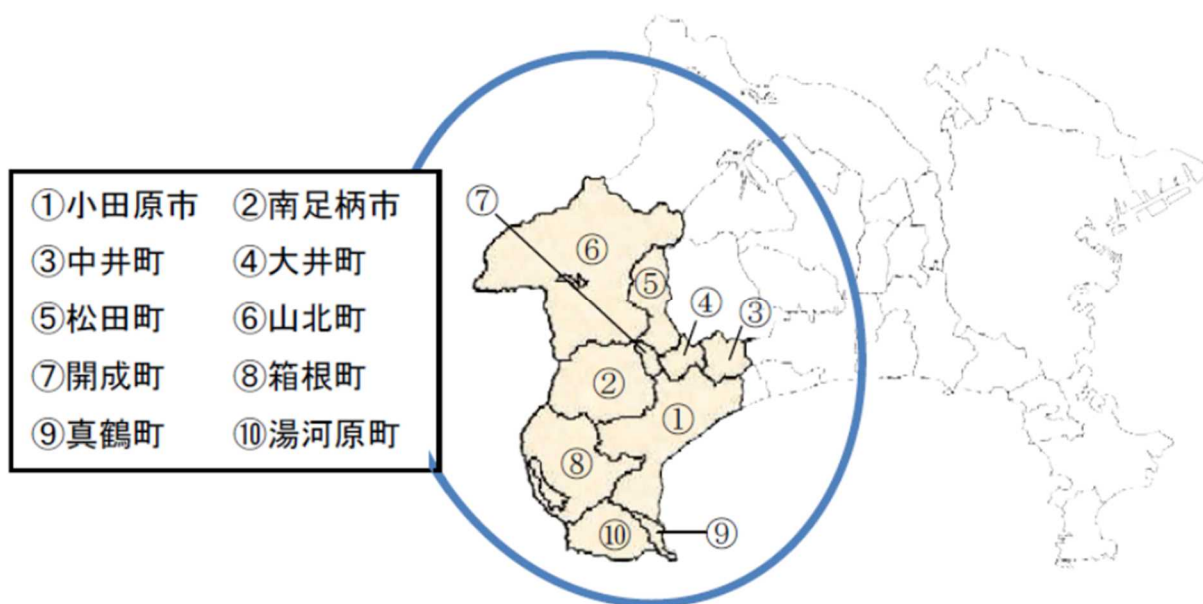
組織委員会					
代表理事	設立理事	専務理事	委員長・副委員長		
古川 達高	鈴木 伸幸	外部 藤石海門	中嶋 順	白仁 隆文	田村 洋一

プロモーション・マーケティングチーム	エコソリューションチーム	プロモーション・プロダクト・セールsteam
部長 一般社団法人 小田原市観光協会 奥村 副部長 一般社団法人 小田原プロモーションフォーラム 箱根プロモーションフォーラム 中嶋 ・マーケティングチーム 一般社団法人 小田原市観光協会 一般社団法人 箱根観光協会 一般社団法人 真珠観光協会 一般社団法人 湯河原温泉観光協会 あしがら観光協会 松田町観光協会 山北町観光協会 ・プロジェクトチーム 一般社団法人 小田原プロモーションフォーラム 株 JTBコーポレートセールス 法人営業課 伊西 文 ラウンドブレイク 株式会社 神奈川県西地域観光協会センター	部長 箱根町企画観光部観光課 山内 圭 副部長 小田原市企画部企画政策課政策調整係 岡部 隼人 小田原市 神奈川県西地域観光協会センター 高尾町 さがみ信用金庫 地域元気創造部 山北町 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所 中井町 小田原箱根ホールディングス株式会社 大井町 株式会社 Liquid Japan 松田町 横浜銀行 小田原支店 岡部町 湯河原町 真珠町 ・プロモーション検討グループ ・事業連携検討グループ	部長 白仁 隆文 様 副部長 田村 洋一 FM小田原株式会社 株式会社 エリアコンシェル ヒルトン小田原リゾート&スパ フォレストアドベンチャー・小田原 あしがら社中 小田原箱根観光工務所 公益社団法人 小田原青年会議所 県西部学生ボランティア Jooooooo 株式会社 ついうろろ 株式会社 エスアールシー 株式会社 シェイコムイースト 株式会社 湯島よみうり別荘社 株式会社タウンニュース社 小田原 一般社団法人 小田原坂下町 一般社団法人 日産園遊友好協会 株式会社ホムタホールディングス 株式会社 伊豆らねかつ亭 有限会社 レントール小田原 小田原お徳屋 万葉の湯 金乃村 (株)ロハス サントリー酒造 株式会社 アサヒビール株式会社 箱根プロモーションフォーラム 株式会社 湯など案内所 ・箱根町集客チーム 飯田さん (小田原箱根観光工務所) ・箱根差別チーム 湯野さん (小田原青年会議所) ・D&B集客チーム 本田さん (ホムタホールディングス) ・プロモーション検討チーム 久保田さん (シェイコムイースト)

※合意形成においては、上記の DMO 会員の各関係者が一堂に参加する例会を毎月 1～2 回開催し、意見を徴収するとともに、かながわ西観光コンベンションビューローの理事会を毎月 1～2 回開催し、中核的立場として、意思決定を行っている。

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

区域を構成する地方公共団体と商工関係団体、観光関係団体、企業等で組織する「県西地域活性化推進協議会」を平成 25 年から設置し、区域内の豊富な地域資源を生かした「県西地域活性化プロジェクト」を推進してきた。このプロジェクトでは「未病を改善する」をキーワードに、各地域の魅力をつなげて新たな価値を創出する取組を実施している。

当該区域は里山の広がる足柄上郡と、箱根など観光地・温泉地を有する足柄下郡から構成され、区域内の連携により多様な観光コンテンツの構築が可能となる。また、地域連携の面からみても「足柄地域」としての認識が従来から存在することから、区域内の市町村全域を区域として設定し、更なるプロモーションにより誘客拡大と産業活性化を図る。

【観光客の実態等】

神奈川県西部地域全体で約 3,400 万人の来訪客を受け入れている。また、海外からの旅行者としては、多くの個人旅行者が小田原や箱根を訪れている。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

※区域全体の宿泊施設数は約 2,000 施設。

〈収容人員の多い主な市町の状況〉

■小田原市

ホテル：ヒルトン小田原リゾート&スパ（小田原市根府川） 収容人員約 530 人

ビジネスホテル：小田原駅周辺を中心に 13 施設、収容人員約 580 人

(別添) 様式 1

旅館、その他宿泊施設：小田原駅及び根府川中心に 11 施設、収容人員約 200 人

■南足柄市

ホテル、旅館等 9 施設、収容人員約 1,300 人

■箱根町

宿泊施設全体で 420 施設、約 27,600 人

(内訳) 旅館・ホテル：193 施設、収容人員約 18,500 人

寮・保養所、その他宿泊施設：227 施設、収容人員約 9,100 人

【利便性：区域までの交通、域内交通】

都心部から東海道新幹線や小田急線特急で 30 分～2 時間圏内にあり、鉄道による首都圏からのアクセス、利便性は高く、区域内を通る小田急線を利用して各地域に行くことができる。また、東名高速道路が区域内を通り、自動車によるアクセスも良い。中部、関西方面からも東海道新幹線や東名高速道路を利用し、アクセス可能である。

【外国人観光客への対応】

小田原、箱根の観光客を中心に個人の外国人観光客が増加しており、環境整備に取り組んでいる。フリーWi-Fi の整備や外貨の両替サービス所の開設、観光案内所への外国語案内ができるスタッフの配置、多言語表記によるパンフレット作成や案内表示の整備、外国人観光客専用の割引周遊券の発売などを実施してきた。コロナ禍後、外国人観光客の増加が見込まれることから、引き続き受入環境整備に取り組んでいく方針である。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
入込観光客調査	来訪者数の把握。	各自治体から情報を収集。
観光満足度調査	来訪者の滞在時間や来訪頻度等ニーズ把握のため。	主要観光施設での来訪者アンケートを実施。
外国人の旅行動態調査	国別・旅行種別の動態等を把握するため。	既存の調査データから情報を把握。
宿泊施設調査	宿泊者数と消費額を把握するため。	主要な宿泊施設を対象としたアンケートを実施。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

神奈川県西地域では、海、山、温泉など多様な観光資源を有し、首都圏から近い立地もあり、多くの観光客が訪れている。

一方で、各地域では、人口減少が進んでおり、地域産業の活力が低下している、観光客数が地域内で差異があるなどの課題を抱える。

観光地域づくりを推進し、観光客が少ない地域で、海、山などの資源、その立地性を活かして、新たな集客が見込める。地域全体で、周遊、滞在時間の延長、さらに、交流人口の増加につなげることができる。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none">・首都圏からのアクセスの良さ・箱根、小田原など集客力のある観光地・海、山、温泉と域内で様々な観光要素を有する	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none">・地域内連携が弱い・都心から近いため日帰り客が多く、1人あたりの消費額が小さい・休日やシーズン時の混雑
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none">・外国人観光客、特に個人旅行者の増加・海、山、温泉など、広域観光圏で見ると多様な観光資源が揃っており、連携の機運が高まっている	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none">・鎌倉や日光など、関東各地の近隣他地域の観光地との競合

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 首都圏在住の富裕層、こだわり層
○選定の理由○取組方針 高級感のある観光地づくりを目指していること、現在首都圏からの観光客が全体の7～8割を占めることから選定。 付加価値の高い観光地づくりを進め、リピート率の向上、連泊による旅行消費額の向上を図る。
○ターゲット層 欧米豪、中東、アジアの富裕層、個人旅行者
○選定の理由、○取組方針 高級感のある観光地づくりを目指していること、外国人旅行者の特に個人旅行者が増加傾向にあることから選定。 リゾート地の整備のほか、温泉や里山での日本らしい体験ができる体制整備を進める。 海、山、温泉など多様な観光資源を区域内で楽しめるよう、県西部の周遊性を高める。
○ターゲット層 30～40代東京、県内女性
○選定の理由、○取組方針 首都圏からの立地の近さから、ちょっとでかけたくなる旅を訴求していくため、選定。 観光客とまち、観光客と地域住民、まちとまちをつなげる情報発信や滞在型プログラム構築を進め、県西部の周遊性を高める。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	海+里山+温泉、上質の癒しとおもてなし “Kanagawa West”
②コンセプトの考え方	神奈川県西部にある海や里山、温泉地など多様な観光地を連携させ、上質の癒しとおもてなし環境を創出することで、来訪者の満足度、リピート率の向上を図る。 国内外の富裕層、準富裕層の集客を強化し、旅行消費額の増加を目指す。観光を軸とした交流と連携により地域経済循環の向上や地域の雇用創出を生み出し、県西部全体で地域振興を図る。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	多様な関係者で組織する理事会・部会での検討、構築を定期的に取り組む。 具体的には、DMO内にて、関連事業者から成るプロジェクト・マーケティングチームやプロダクトプロモーションセールsteamを組織化し、月に1回程度、議論を進めるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	月1回の定例会にて、イベント・事業・プロモーションなどエリア情報の共有を実施するほか、情報収集のためのフォーマットを作成しメールで回収するシステムを確立する。 定期的な理事会・部会等の各会議の場で定性的・定量的な相互評価を行い、サービスの維持・向上を図る。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	ホームページ制作、ホームページと連動した情報誌の発行、プロモーション動画製作を行う。 「Link Trip - Kanagawa West -」を媒体名として、「つなげる、つながる、つながり、むすぶ」をコンセプトに、観光客と住人をつなげる／町と町がつながる／人と町がつながるを実現化する、もっと神奈川西エリアの旅を大きく楽しめる観光情報を発信する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

指標項目		2017 (H29) 年 度	2018 (H30) 年 度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	177,000 ()	120,000 ()	123,600 ()	126,700 ()	129,900 ()	検討中 ()
	実績	110,757 ()	119,908 ()	121,148 ()	()	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	6,800 ()	6,250 ()	6,240 (642)	6,600 (660)	6,650 ()	検討中 ()
	実績	5,841 ()	5,696 ()	5,327 ()	()	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	83.6 ()	83.9 ()	84.2 ()	84.6 ()	85.0 ()	検討中 ()
	実績	83.0 ()	84.0 ()	84.2 ()	()	()	()
●リピーター率 (%)	目標	97.2 ()	97.3 ()	97.4 ()	97.5 ()	97.6 ()	検討中 ()
	実績	97.0 ()	97.2 ()	97.3 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

県西地域では、2011年の東日本大震災以降、観光客数は増加傾向にあったが、2015年の大涌谷の事象により、箱根を中心に減少した。大涌谷の事象が落ち着いたことや、インバウンド観光客が増加したことにより、再び増加傾向となっている。2019台風被害により箱根登山鉄道の運休、通行止めなど派生したこともあり、天災による数値の見直しが検討されている。

このような背景のもと、マーケティング、プロモーション、商品づくりなどにより、観光客数を県西エリア全体で増加させていくとともに、観光の質を高めていくことで、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の向上を目指す。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

平成26年実績をもとに、延べ観光客数、延べ宿泊数の増加や平均消費額を踏まえて、目標の設定した。

●延べ宿泊者数

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に15%以上増の665万人を目標とした。

●来訪者満足度

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に85%を目標とした。

●リピーター率

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に97.6%を目標とした。

(2) その他の目標

指標項目		2017 (H29) 年 度	2018 (H30) 年 度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
●延べ観光客数 (万人)	目標	3712 ()	3814 ()	3916 ()	4019 ()	4050 ()	検討中 ()
	実績	2339 ()	3814 ()	3838 ()	()	()	()
●日帰り客数 (万人)	目標	3103 ()	3188 ()	3273 ()	3360 ()	3400 ()	検討中 ()
	実績	2055 ()	3168 ()	3108 ()	()	()	()
●宿泊客の平均 消費単価 (円)	目標	31800 ()	32000 ()	32300 ()	32600 ()	33000 ()	検討中 ()
	実績	28034 ()	31800 ()	31600 ()	()	()	()
●日帰り客の平 均消費単価 (円)	目標	8200 ()	8300 ()	8410 ()	8530 ()	8650 ()	検討中 ()
	実績	6400 ()	7900 ()	7100 ()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

県西地域では、2011年の東日本大震災以降、観光客数は増加傾向にあったが、2015年の大涌谷の事象により、箱根を中心に減少した。大涌谷の事象が落ち着いたことや、インバウンド観光客が増加したことにより、再び増加傾向となった。その後、大涌谷の事象に少し動きがあることや、2019年の台風被害（登山鉄道の運休、主要道の通行止め等）により、観光客が減少となった。2020年からは、コロナ禍の大きな影響を受けている。

このような背景のもと、マーケティング、プロモーション、商品づくりなどにより、観光客数を県西エリア全体で増加、維持させていくとともに、観光の質を高めていくことで、宿泊客や日帰り客の平均消費単価の向上を目指す。

【検討の経緯】

県西地域では、2011年の東日本大震災以降、観光客数は増加傾向にあったが、2015年の大涌谷の事象により、箱根を中心に減少した。大涌谷の事象が落ち着いたことや、インバウンド観光客が増加したことにより、再び増加傾向となっている。

このような背景のもと、マーケティング、プロモーション、商品づくりなどにより、観光客数を県西エリア全体で増加させていくとともに、観光の質を高めていくことで、宿泊客や日帰り客の平均消費単価の向上を目指す。

【設定にあたっての考え方】

●延べ観光客数

平成26年実績をもとに、日帰り客数、延べ宿泊数の増加を踏まえて、目標の設定した。

●日帰り客数

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に20%以上増の3,400万人を目標とした。

●宿泊客の平均消費単価

(別添) 様式 1

平成 26 年実績をもとに、徐々に向上させ、平成 33 年に 33,000 円を目標とした。

●日帰り客の平均消費単価

平成 26 年実績をもとに、徐々に向上させ、平成 33 年に 8,650 円を目標とした。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に (1) 収入、(2) 支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2018(H30)年 度	(円) 8,200,000	(円) 企画委託費 2,500,000 受託事業収入 4,500,000 会費 510,000
2019(R1)年 度	(円) 9,200,000	(円) 企画委託費 3,730,000 受託事業収入 4,540,000 会費 930,000
2020(R2)年 度	(円) 21,790,000	(円) 指定管理料 19,200,000 地方公共団体受託事業収入 2,500,000 会費 90,000
2021(R3)年 度	(円)	(円)
2022(R4)年 度	(円)	(円)

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2018(H30)年 度	(円) 8,200,000	(円) <一般管理費> 人件費 4,800,000 その他 672,000 <事業費> 観光資源の磨き上げ 2,900,000
2019(R1)年 度	(円) 8,654,000	(円) <一般管理費> 人件費 4,800,000 その他 1,267,000 <事業費> 観光資源の磨き上げ 2,587,000

(別添) 様式 1

2020 (R2) 年度	(円) 21,120,000	(円) <一般管理費> 人件費 4,800,000 その他 3,500,000 <事業費> 観光資源の磨き上げ 15,820,000
2021 (R3) 年度	(円)	(円)
2022 (R4) 年度	(円)	(円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

お土産品の開発・販売による収入の確保
加工施設等の指定管理受託の検討・実施による財源確保
広告料収入、会費収入

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、県西地域県政総合センターは、一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューローを当該都道府県及び市町村における地域連携DMOとして引き続き登録したいため、一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューローとともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	中嶋 順
担当部署名 (役職)	(一社)かながわ西観光コンベンション・ビューロー 一理事
郵便番号	250-0011
所在地	神奈川県小田原市栄町 1-1-8
電話番号 (直通)	0465-20-9166
FAX番号	
E-mail	info@kanagawacvb.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	神奈川県 (県西地域県政総合センター)
担当者氏名	中村 條二
担当部署名 (役職)	企画調整部 商工観光課 副主幹
郵便番号	250-0042

(別添) 様式 1

所在地	神奈川県小田原市荻窪 350 番地 1
電話番号 (直通)	0465-32-8908
F A X 番号	0465-32-8111
E - m a i l	nakamura.74f2@pref.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	小田原市
担当者氏名	木澤 克紀
担当部署名 (役職)	企画政策課政策調整係 係長
郵便番号	250-0042
所在地	神奈川県小田原市荻窪 300 番地
電話番号 (直通)	0465-33-1315
F A X 番号	0465-33-1286
E - m a i l	kikaku@city.odawara.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	南足柄市
担当者氏名	今井 直樹
担当部署名 (役職)	商工観光課 班長
郵便番号	250-0105
所在地	神奈川県南足柄市関本 440 番地
電話番号 (直通)	0465-73-8031
F A X 番号	0465-70-1077
E - m a i l	

都道府県・市町村名	中井町
担当者氏名	寺澤 康隆
担当部署名 (役職)	企画課 主査
郵便番号	259-0153
所在地	神奈川県足柄上郡中井町比奈窪 56 番地
電話番号 (直通)	0465-81-1112
F A X 番号	0465-81-1443
E - m a i l	

都道府県・市町村名	大井町
担当者氏名	青木 義則
担当部署名 (役職)	企画財政課 主任主事
郵便番号	258-0019
所在地	神奈川県足柄上郡大井町金子 1995 番地
電話番号 (直通)	0465-85-5003

(別添) 様式 1

F A X 番号	0465-82-9965
E - m a i l	

都道府県・市町村名	松田町
担当者氏名	富士原 賢吾
担当部署名 (役職)	観光経済課 主事
郵便番号	258-0003
所在地	松田町松田惣領 2037 番地
電話番号 (直通)	0465-83-1228
F A X 番号	0465-83-1229
E - m a i l	kankou@town.matsuda.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	山北町
担当者氏名	佐藤 雅彰
担当部署名 (役職)	商工観光課 副主幹
郵便番号	258-0113
所在地	神奈川県足柄上郡山北町山北 1301 番地 4
電話番号 (直通)	0465-75-3646
F A X 番号	0465-75-3661
E - m a i l	kankou@town.yamakita.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	開成町
担当者氏名	鈴木 良亮
担当部署名 (役職)	まちづくり部産業振興課 商工担当 主事
郵便番号	258-0026
所在地	神奈川県足柄上郡開成町延沢 773 番地
電話番号 (直通)	0465-84-0317
F A X 番号	0465-82-5234
E - m a i l	r.suzuki91@town.kaisei.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	箱根町
担当者氏名	松島 基樹
担当部署名 (役職)	企画観光部観光課観光係 係長
郵便番号	250-0311
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256
電話番号 (直通)	0460-85-7410
F A X 番号	0460-85-6815
E - m a i l	matsu@town.hakone.kanagawa.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	真鶴町
担当者氏名	小清水 一仁
担当部署名 (役職)	企画調整課 企画情報係長
郵便番号	259-0202
所在地	神奈川県足柄下郡真鶴町岩 244 番地の 1
電話番号 (直通)	0465-68-1131 (観光係 内線 333、334)
F A X 番号	0465-68-5119
E - m a i l	

都道府県・市町村名	湯河原町
担当者氏名	石黒 英亀
担当部署名 (役職)	観光課 課長
郵便番号	259-0301
所在地	神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2-2-1
電話番号 (直通)	0465-63-2111
F A X 番号	0465-63-4194
E - m a i l	

